

防災だより No.1

下田市では、東日本大震災の発生や国（内閣府）の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」において、最大となる震度と津波高の推計が公表されたことから、今後の情報提供や地震対策の取組について広く市民にお知らせし、防災意識の向上を図っていただくために、「防災だより」を発行いたします。

南海トラフの巨大地震に関する国の想定について

平成 24 年 3 月 31 日に南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の推計が国（内閣府）から第 1 次報告として公表されました。その内容では、下田市においては「最大震度 6 強、最大津波高 2.5、3m」という大変厳しい数字が示されました。

ただ、今回の推計は、東日本大震災の教訓を踏まえた新たな考え方として、現時点での最新の科学的知見に基づき、最大クラスの地震・津波を想定したものであって、南海トラフ沿いにおいて必ずしも次におこる地震・津波を予測したものでなく、発生確率を念頭に地震・津波を想定したものではありません。

今回の公表では、最大津波高の発生地点、遡上高、浸水域など詳しいデータが未公表となっており、今後結果がまとまった段階で順次公表予定となっています。

今回の公表結果及び今後の公表される詳細な情報を受け、公表情報の精査、必要な情報の収集、防災計画の見直しなど、早期の対策事業の推進を図っていきたいと考えています。

日頃の備え

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、死者、行方不明者約 2 万人、住宅被害約 69 万戸（全壊、半壊、一部破損）という甚大な被害をもたらしました。

地震ばかりでなく、台風、集中豪雨、土砂災害、火災など、私たちは常に災害の危険と隣り合わせで生活をしています。

事前に防災対策をしておくことで、被害を軽減させることはできます。

いざという時のために、日頃から防災対策を行いましょう。



自宅の耐震

災害発生時には、まず命を守ることが重要です。

家の耐震化や家具固定などの対策を行い、

自宅の安全環境づくりを行いましょう。

耐震診断・改修

下田市では、無料の耐震診断及び耐震補強助成事業（対象は昭和 56 年 5 月以前に建てられた木造住宅）をおこなっています。

詳細については建設課（０５５８－２２－２２１９）にご連絡ください。

家具の配置と固定

「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や配置の見直して、室内に安全空間をつくるようにしておきましょう。



『海拔』常に意識を

下田市では、学校や公民館、寺院など市内に点在する指定避難地に海拔表示版を設置しています。

設置箇所の海拔を日本語、英語、ポルトガル語、中国語、韓国語で併記しました。また、市内の集客施設にも掲示のご協力をお願いしています。

下田市メール配信サービス運用開始

下田市では、暮らしに役立つ情報を携帯電話やパソコンにメールでお届けする、無料の「メール配信サービス」の運用を４月１日から開始しました。

配信情報

- ・ J-ALERT（全国瞬時警報システム）情報
- ・ 広報しもだ（下田市防災同報無線放送）放送内容
- ・ 下田市消防・防災・防犯情報
- ・ 下田市行政情報、下田市観光情報



登録方法①

カメラ機能付携帯電話で登録用QRコードを読み取り、サイトに接続後、手順に従って登録してください。



<登録用 QR コード>

登録方法②

下記メールアドレスに空メールを送り、返信されたメールに記載されている手順に従って登録をしてください。

shimoda@sg-m.jp

※詳細については総務課秘書広報係（０５５８－２２－２２１１）にご連絡ください。

◇次号の内容◇

- ・ 津波について
- ・ 今後の下田市の取組について

<発行元>

下田市役所 市民課防災係

☎ ０５５８－２２－２２１５

✉ shimin@city.shimoda.shizuoka.jp